



# alizer Puffy パフィ & Puffy color パフィ カラー

## バッグの作り方

編み図記号  
e  
編み図作成  
大石 容子  
編み図監修  
澤田 温子  
2018.11.08

Col no.  
5862

Col no.  
5875

Col no.  
111 プラム

Col no.  
179 キヤメル

### 編み図 (作り図)

- 用意するもの：Puffy もしくは、Puffy color 約2玉・底板1個・持ち手1組・かぎ針 3/0号 (お好みのサイズでOKです。)
- ★編み方：赤い矢印の方向に目を拾って編んで行ってください。「目を拾って」「伏せ留め」を繰り返し編んでいきます。
- ◆サイズ：縦 (高さ) 約22cm・横幅 (底) 直径19.8cm×10cm ※詳しくは右の「作り方」及び「Puffy 基本の編み方」を参照してください。
- 所要時間：約3時間

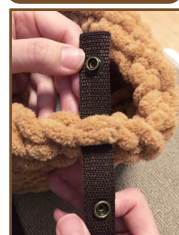
#### 段の上がり方：

段の立ち上がりなしに矢印方向に上がって次段に移ります。

2段目から、最終の目を次の段の1目めに伏せ留めます。そのため、段の最後の目が1目ずつ右へ移動していきます。

底板

#### 持ち手付け方



持ち手：「ホックハンドル」  
品番：THL40-202  
持ち手のスナップを外し、バランスの良い位置の目を選んで持ち手を通します。あとは、スナップを開ければ簡単に持ち手を付けられます。

#### 目の増減表

目数の変更はありません。

(段の色分け表)

作り目 42目  
1段目 42目  
2段目 42目  
3段目 42目

18段目 42目

作り目と1段目以外は最終段まで同じ編み方です。

編み方向

基本の編み方 (編み図記号：a) に詳しい編み方、糸の処理の仕方が記載されていますので合わせてご覧ください。

### 作り方

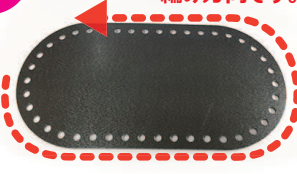
1～11 作り目の作り方 12～16 1段目の編み方  
17～18 2段目から18段目の編み方 19～20 最終段糸処理～完成

他にもPuffyの編み図あります!  
http://kyoto-terai.com/puffy/



1

編み方向です。



底板はハmanaナ株式会社製の「H204-627 バッグ底板・だ円」を使用します。目数は42個です。

2

繋がっている部分の細い糸を切ります。



Puffy もしくは Puffy color を用意します。編みは最初の2目の輪 (ループ) の中心をカットして→

3

まっすぐな糸

→ まっすぐな糸にします。この糸は最後に糸処理をしますので、置いておいてください。

4

底板の穴にかぎ針を通し、Puffy の目をひっかけて、→

5



→ 引き抜きます。

6

編み方向です。



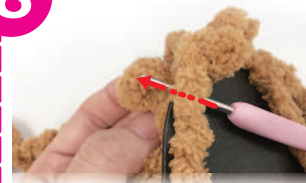
おなじ要領で底板の42目すべてにPuffy の目を通します。

7



底板をひっくり返します。4と5で通した目を“くるり”と回して通します。(次：8から10で説明)

8



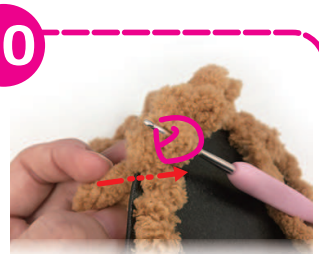
【“くるり”部分説明：1】  
通した目の裏側からかぎ針を通し、→

9



【“くるり”部分説明：2】  
→ 目をひっかけて、→

10



【“くるり”部分説明：3】  
→ 手前に通します。

11



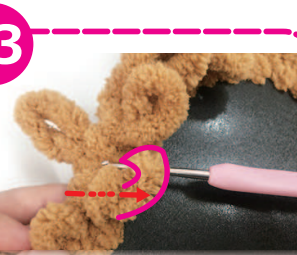
同じ要領で1周通したところです。これで作り目ができました。

12



1段目を編みます。8 9 10 で通した目にかぎ針を通し、→

13



→ 1個づつ目を通します。

14



一周通したところです。(このあとの段は指で編みます。)  
見えている面はバッグの内側です。表を中にして編んでいきます。

15



隣の目  
1目め  
伏せ留めをしています。1目めをとり、隣の目を1目めの輪の中に通し、→

16



→引き抜きます。同じ要領で続けて全ての目を伏せ留めします。

17



次の目を1段目で伏せ留めた目に通す。  
1段目の最後の42目めまで伏せ留めしたところです。  
42目めの目はそのままに置いておいて、2段目の目を指で通して行きます。

18



2段目の1目め  
※編み図の「段の上がり方」を確認してください。  
2段目の目を1周を通したら、17で残しておいた、1段目の42目めの目を、2段目の1目めを拾い、伏せ留めし、続いて1周伏せ留めをします。

19



17 18を繰り返し、18段目まで編めたら、目のループ部分を2個分カットしまっすぐな糸にして目立たないように糸処理をします。

20



編み上がった編み地をひっくり返して外側に表が来るようにして、持ち手を付けて完成です。  
編み図の持ち手付け方を参照してください。